

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

2020年 7月 31日

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。
- 当社の業績に影響を与える事項は「2020年3月期 有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。
- 本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。
- この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。

- 当社は、2016年度第1四半期決算より、国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用いたしました。
本資料の業績数値は、比較年度である2015年度よりIFRS基準、2014年度は日本基準に基づき記載しております。
- 2020年3月期において、ナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡を実行したことに伴い、同社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損益は、要約四半期損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上収益および営業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、2019年3月期についても同様に組み替えて表示しております。

2021年3月期 第1四半期業績概況

第1四半期として過去最高を更新

✓ **テクノロジー市場は好況 + 企業のマーケティング活動のオンラインシフト**

✓ **売上収益 26.2% 増**

- ・リードジェン事業 新システムが効果を発揮し、市場の需要拡大に対応
好調な既存事業に加え、バーチャルイベントが急成長
- ・メディア広告事業 メディア力好調。業務システム等ビジネス領域中心に広告拡大

✓ **営業利益 82.5% 増**

- ・リードジェン事業 バーチャルイベント強化によりコスト増加も利益率改善
- ・メディア広告事業 増収に伴い利益率が向上

Q1業績（売上収益、営業利益）

売上収益

(+26.2%)

1,425

1,129

FY19Q1

FY20Q1

営業利益

(+82.5%)

350

24.6%

192

17.0%

FY19Q1

FY20Q1

(百万円)

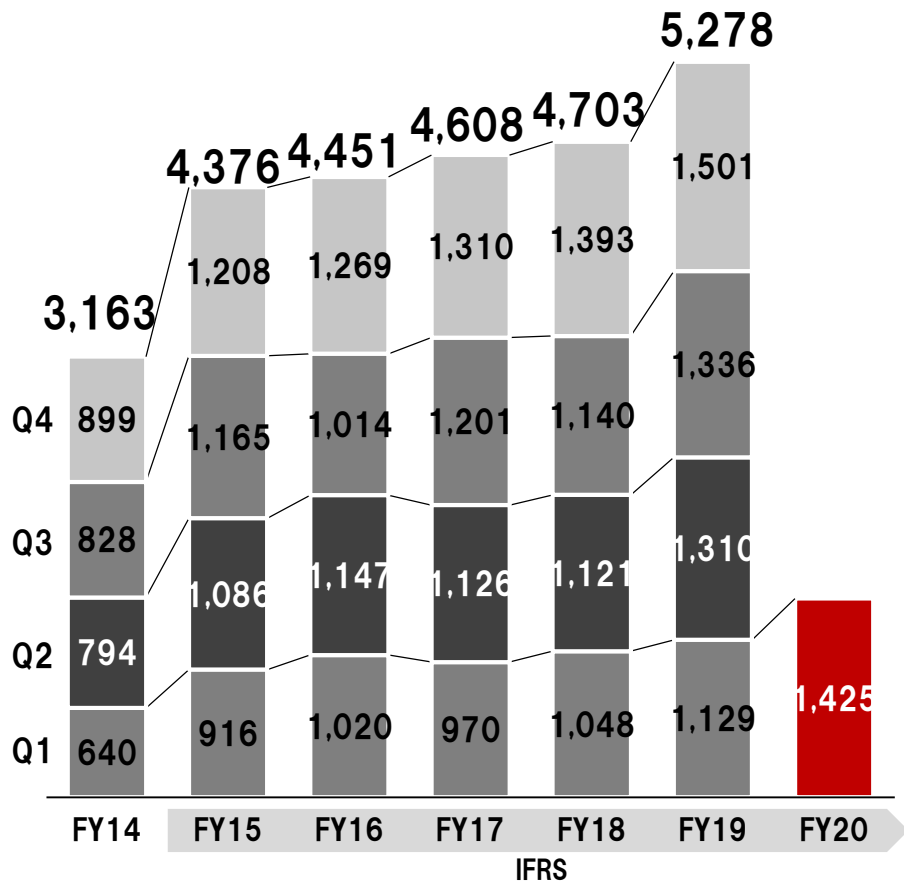
連結損益計算書

(百万円)

	FY19Q1		FY20Q1		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上収益	1,129	100.0%	1,425	100.0%	+26.2%
総コスト	937	83.0%	1,075	75.4%	+14.7%
（うち人件費）	535	47.4%	604	42.4%	+13.0%
EBITDA	273	24.2%	432	30.4%	+58.2%
営業利益	192	17.0%	350	24.6%	+82.5%
四半期利益	146	12.9%	218	15.4%	+49.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	144	12.8%	218	15.4%	+51.8%
四半期包括利益	75	6.7%	239	16.8%	+216.9%

売上収益（四半期別）

（百万円）



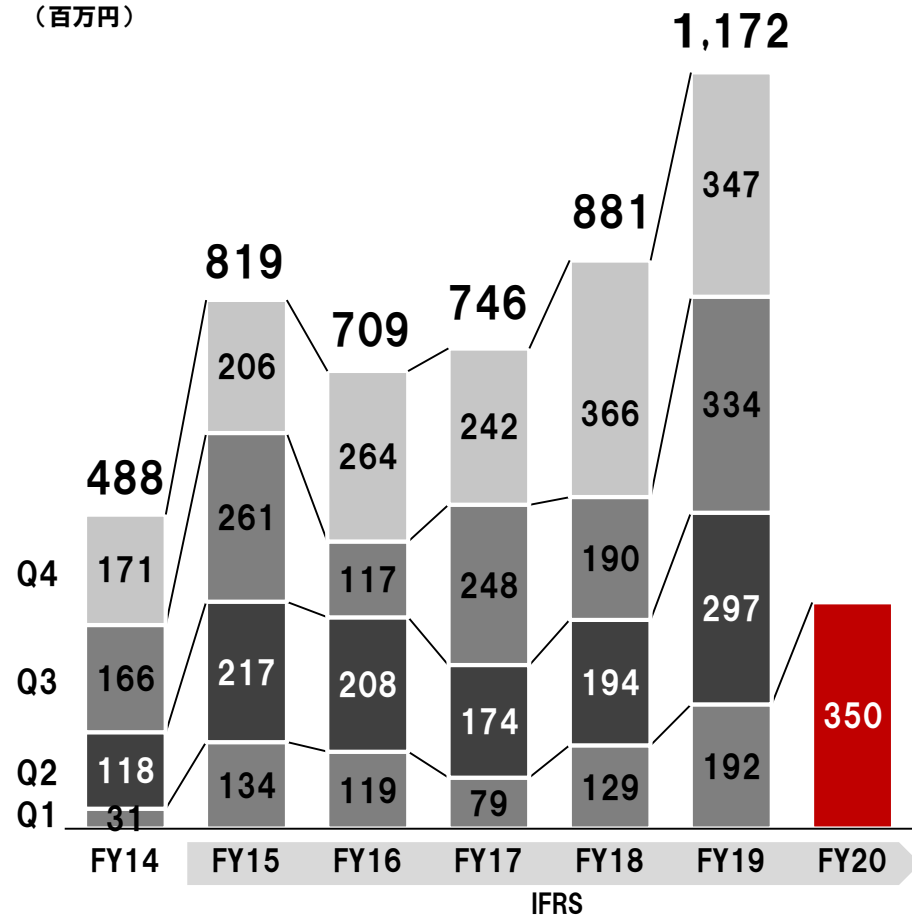
Q1 **1,425** 百万円

前期比 **+296** 百万円（+26.2%）

✓ Q1過去最高を更新

営業利益（四半期別）

（百万円）



Q1 **350** 百万円

前期比 **+158** 百万円 (+82.5%)

✓ **Q1過去最高を更新**

営業利益 増減分析

- ✓ 増収による増益
- ✓ バーチャルイベント等成長領域への投入を継続

前期比
+ 158百万円

(百万円)

メディア広告
売上増加

リードジェン
売上増加

+110

▲69

人件費
の増加

▲68

その他
コストの増加

+186

350

192

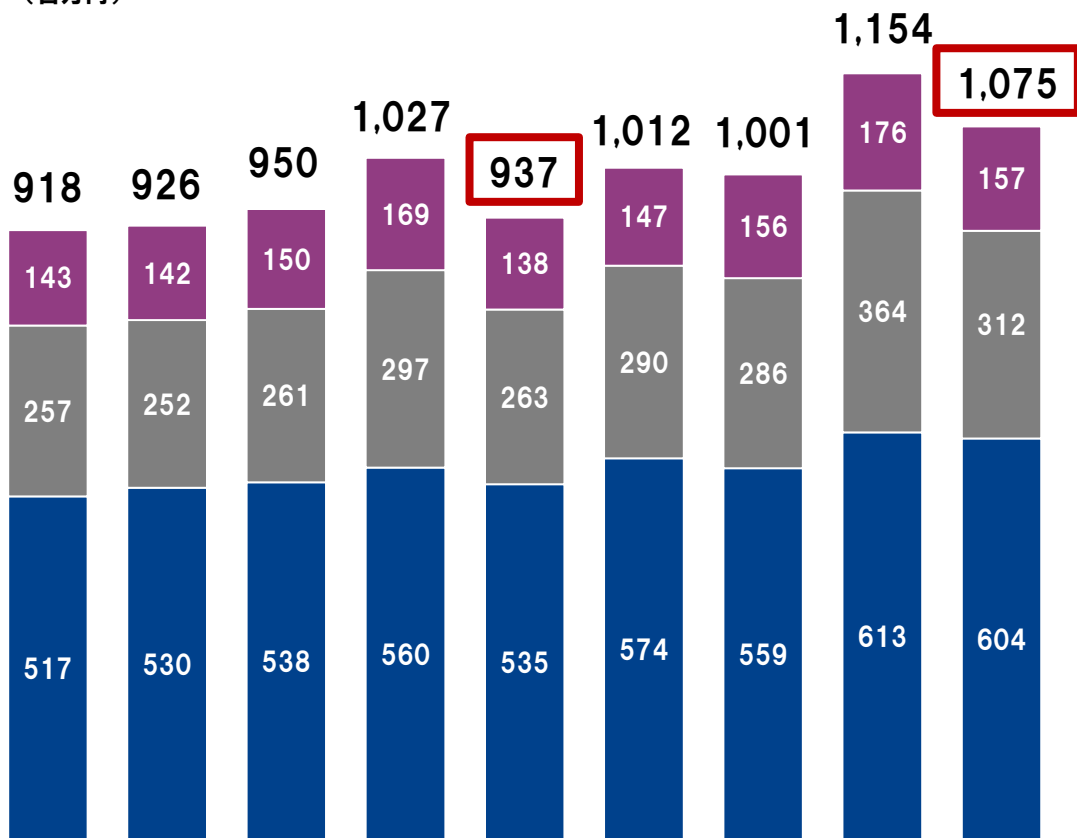
FY19Q1

FY20Q1

コストの内訳 四半期推移

(百万円)

Q1会計期間	前期比	構成比
合計	+14.7%	100.0%
外注費	+14.1%	14.7%
その他	+18.6%	29.1%
人件費	+13.0%	56.2%

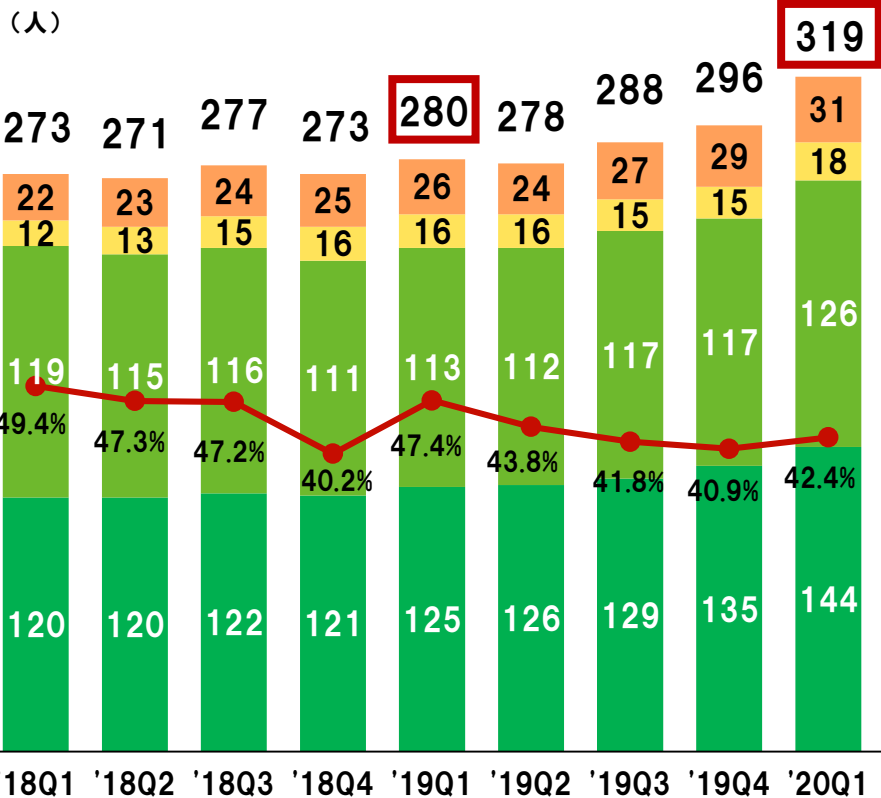


- [主な前年同期比増加要素]
- 人件費+69
 - ・人員増加
 - ・賞与増加
 - 外注費+19、その他+49
 - ・売上連動(バーチャルイベント含む)
 - ・コンテンツ
 - ・業務環境・システム

'18Q1 '18Q2 '18Q3 '18Q4 '19Q1 '19Q2 '19Q3 '19Q4 '20Q1 '20Q2 '20Q3 '20Q4

従業員数の内訳 四半期推移

*契約、派遣、アルバイトを含む



Q1 会計期間	前年同期比	構成比
合計	+13.9%	100%
管理系・その他	+19.2%	9.7%
技術系	+12.5%	5.6%
営業系	+11.5%	39.5%
編集系	+15.2%	45.1%

$$\text{売上収益人件費率} = \frac{\text{【販管費】人件費} + \text{【原価】労務費}}{\text{売上収益}} \times 100$$

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	FY19Q1	FY20Q1	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	337	321	▲16
投資活動による キャッシュ・フロー	▲16	▲88	▲72
財務活動による キャッシュ・フロー	▲134	▲174	▲39
現金及び現金同等物の 増減額	186	58	▲128
現金及び現金同等物の 期首残高	3,383	4,302	+919
現金及び現金同等物の 期末残高	3,569	4,360	+790

営業CF 主な内訳

継続事業からの 税引前利益の計上	+327
減価償却費及び償却費	+82
営業債権及びその他の債権の 増減額	+60
法人所得税の支払額	▲203

投資CF 主な内訳

無形資産の取得による支出	▲16
関係会社株式の取得による支出	▲72

財務CF 主な内訳

配当金の支払	▲115
リース負債の支払額	▲58

連結財政状態計算書

(百万円)

		2020年3月末	2020年6月末	差異
資産の部	流動資産	5,698	5,671	▲27
	非流動資産	1,536	1,527	▲8
	資産合計	7,235	7,198	▲36
負債の部	流動負債	1,273	1,118	▲154
	非流動負債	74	72	▲2
	負債合計	1,347	1,191	▲156
資本の部	資本金/資本剰余金	3,559	3,559	-
	利益剰余金	2,612	2,712	+99
	自己株式	▲344	▲344	-
	他包括利益累計額	59	80	+20
	親会社の所有者に 帰属する持分	5,887	6,007	+120
	資本合計	5,887	6,007	+120

	1株当たり親会社の 所有者に帰属する持分	297.05円	303.12円	+ 6.08円
	親会社所有者帰属持分比率	81.4%	83.5%	+ 2.1pt

資産合計	
現金及び現金同等物	+58
営業債権及びその他の 債権	▲60
使用権資産	▲57
持分法投資	+49

負債合計	
リース負債	▲58
未払法人所得税	▲91

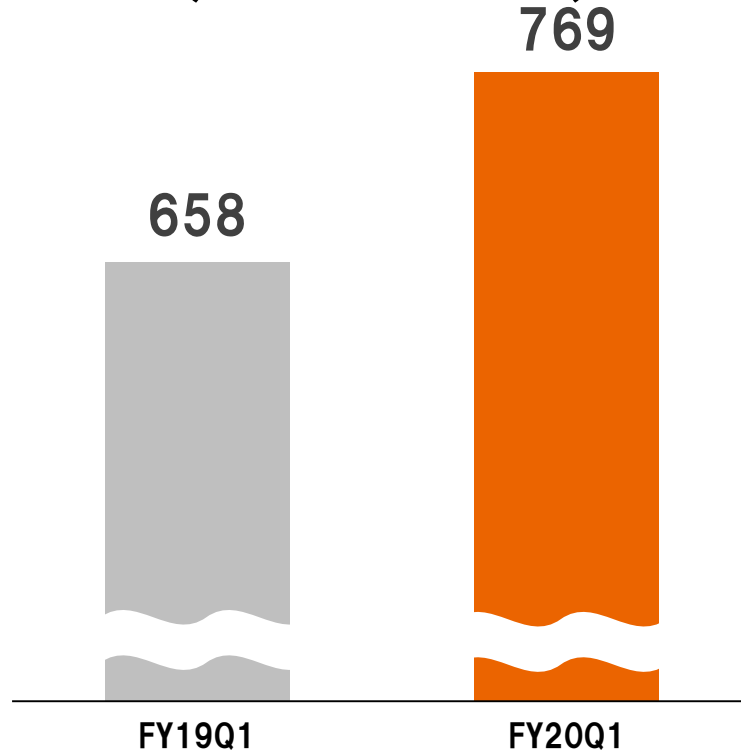
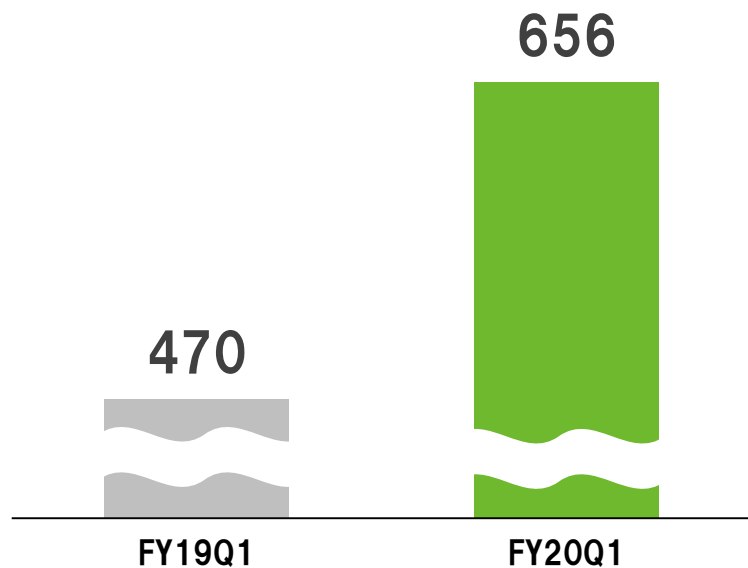
資本合計	
利益剰余金	+99
うち、当期利益	(+218)
うち、剰余金の配当	(▲118)
その他包括利益累計額	+20

セグメント別売上収益

リードジェン事業
(+39.6%)

メディア広告事業
(+16.7%)

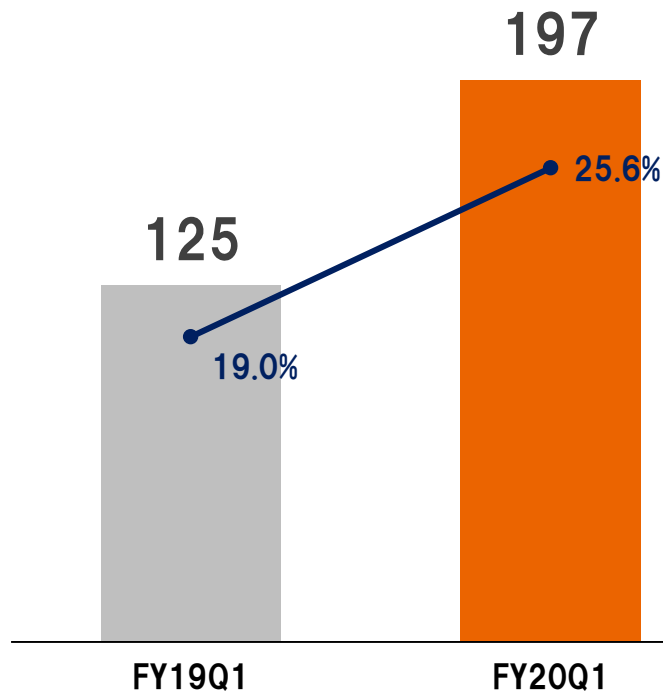
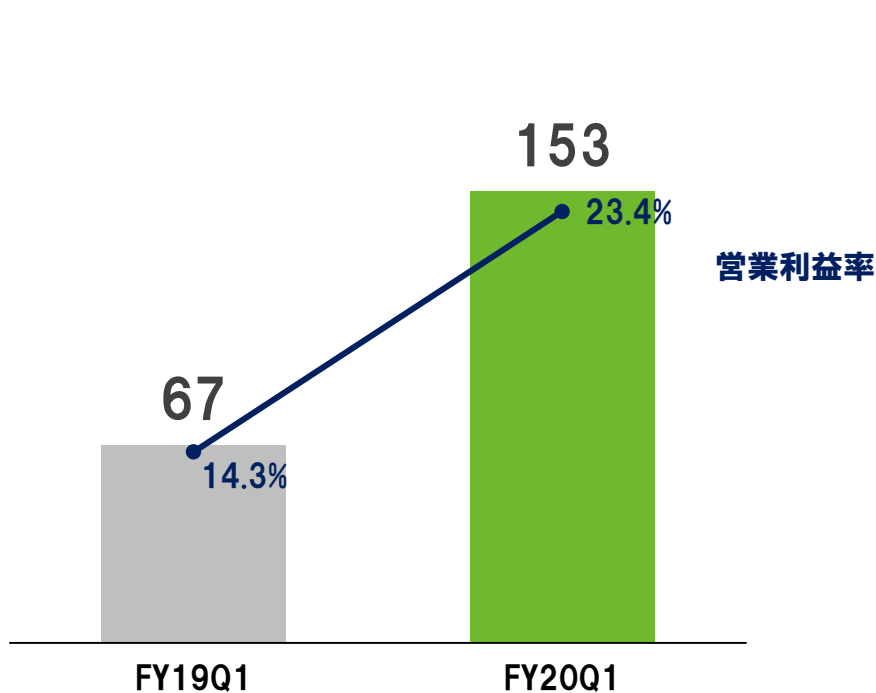
(百万円)



リードジェン事業 (+129.1%)

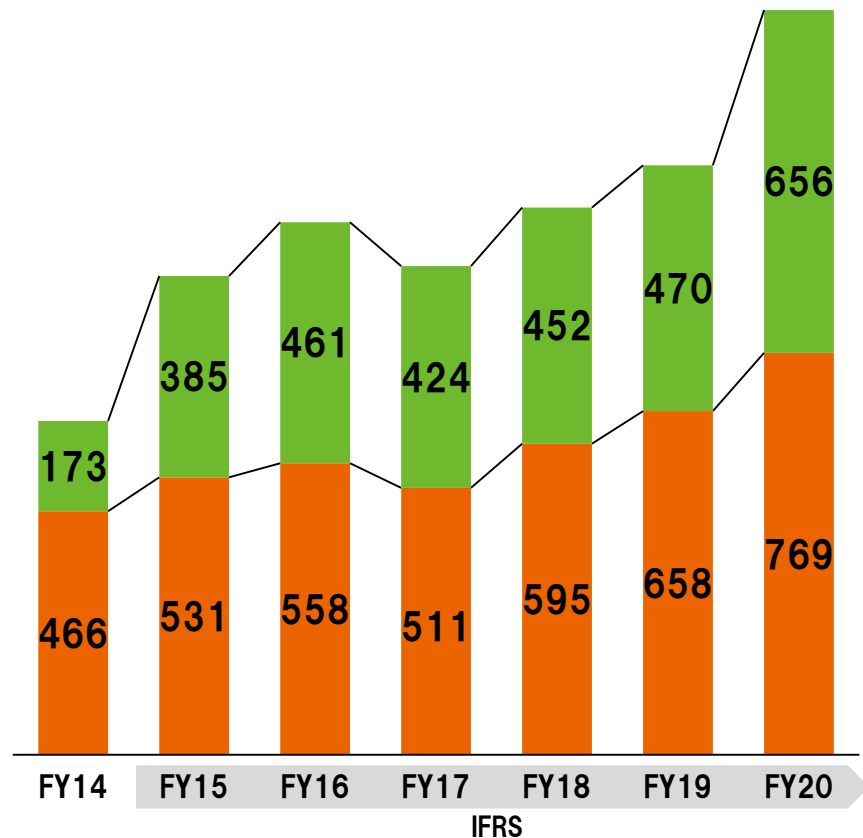
メディア広告事業 (+57.5%)

(百万円)



売上収益 セグメント別（Q1比較）

（百万円）



リードジェン事業

前期比 +39.6 % Q1過去最高を更新

- 新システムが効果を発揮。需要拡大に対応
- 加えてバーチャルイベントが急成長

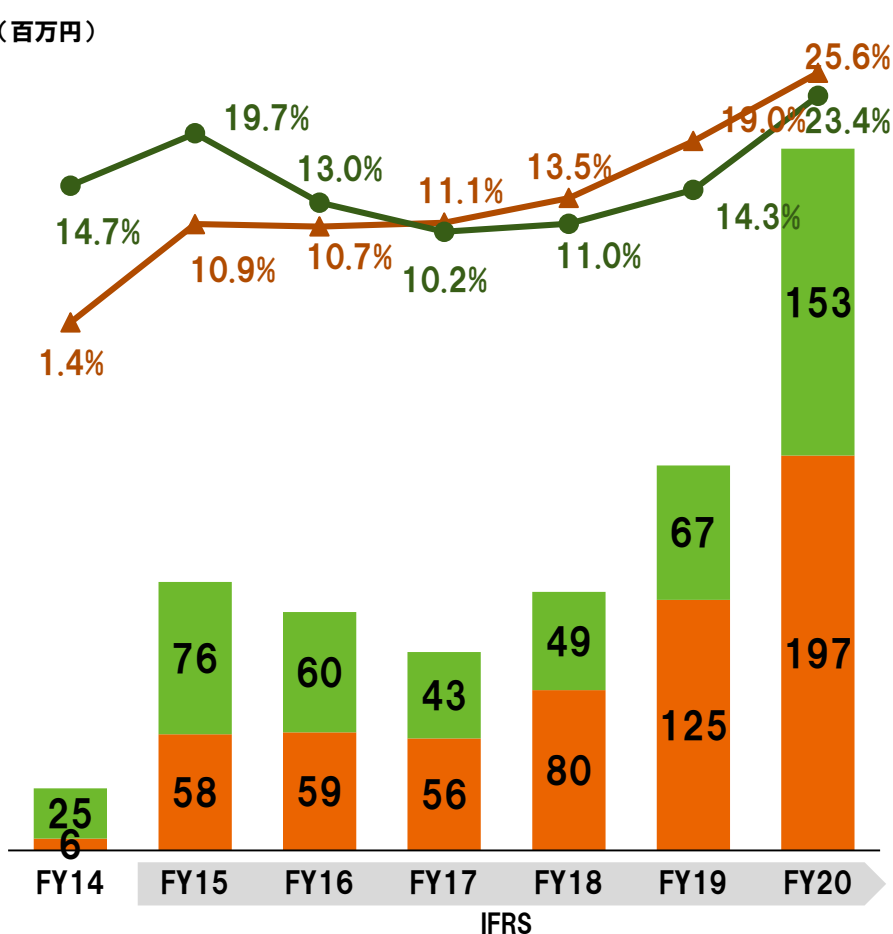
メディア広告事業

前期比 +16.7 % Q1過去最高を更新

- メディア力好調
- 業務システム等ビジネス領域中心に広告拡大

営業利益 セグメント別（Q1比較）

（百万円）



— メディア広告事業 営業利益率

— リードジェン事業 営業利益率

リードジェン事業

前期比 +129.1 % Q1過去最高を更新

- バーチャルイベント強化によりコスト増加も利益率改善

メディア広告事業

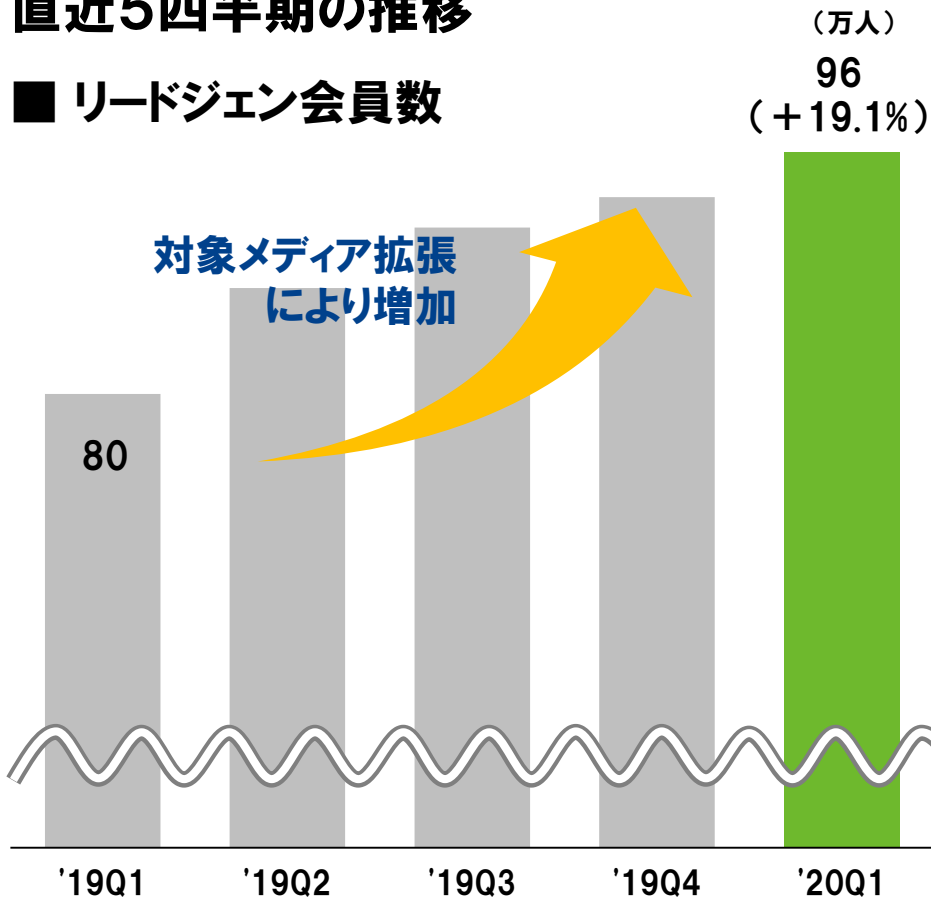
前期比 +57.5 % Q1過去最高を更新

- 増収に伴い利益率が向上

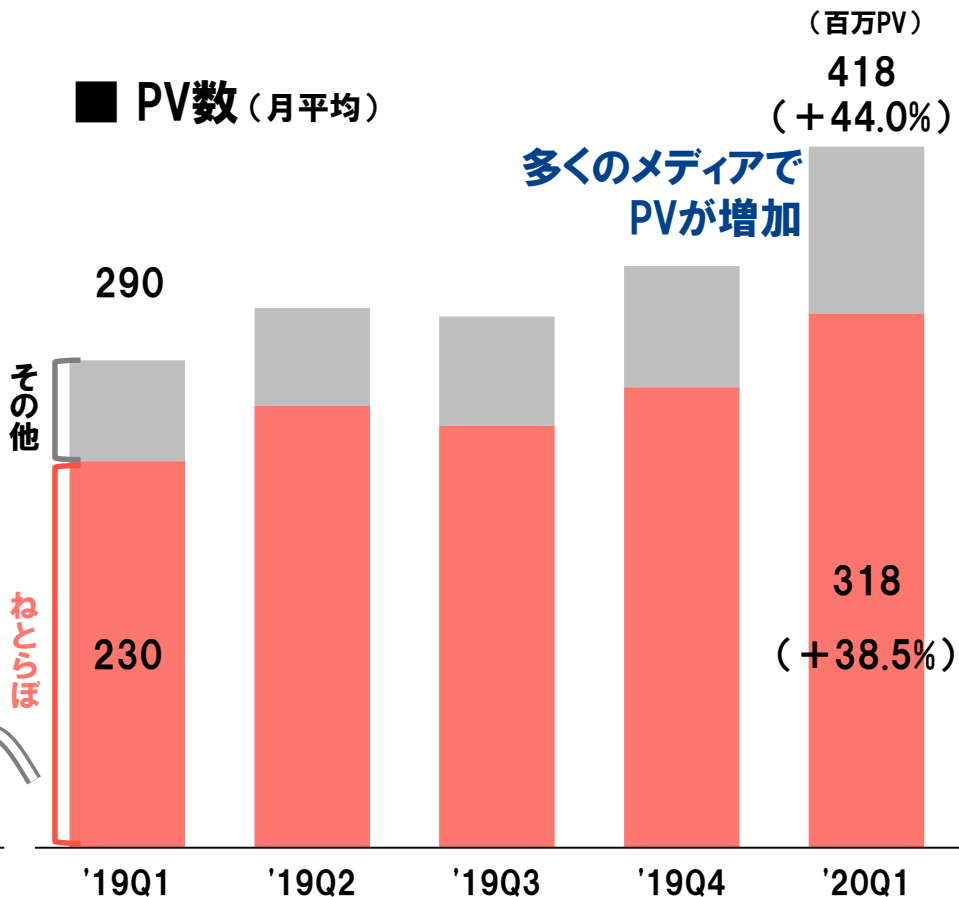
KPIの状況

直近5四半期の推移

■ リードジェン会員数



■ PV数 (月平均)



※ 共通会員基盤「アイティメディア ID」上でリードジェンサービスの対象となっている会員数

サブブランドの継続的拡充により 国内有数の巨大メディアに成長

3.5億PV

20/5月

ねとらぼ

ねとらぼ
エンタ

ねとらぼ
生新部

ねとらぼ
アナー

ねとらぼ
交遊課

ねとらぼ
C/Side

ねとらぼ
まかね

ねとらぼ
調査隊

ねとらぼ
7ボツ

ねとらぼ

サブブランド計

ねとらぼ

11/4月開設

第1四半期のトピックス

感染拡大抑制、ステークホルダーの健康と安全を最優先

早急な対応

在宅勤務への切替

従業員向け準備金支給

継続的な対応

スマートワーク制度導入
(2020年6月25日プレスリリース)

業務環境改善の継続

世の中で起こっている変化

医療

オンライン診療
容認



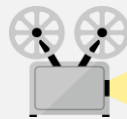
教育

オンライン授業
導入



エンタメ

オンラインコンテ
ンツ利用急増



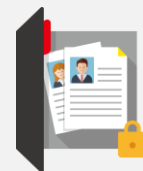
飲食・小売

店舗が苦境
EC・デリバリー
活路



公共

窓口手続き
電子化加速



キーワードは「オンライン」

当社に関わる影響

ITツール

- ・リモートワークの急速な普及
- ・Web会議や電子契約等の活用
- ・SaaS型ツールの有用性発揮



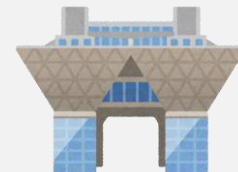
ネットメディア

- ・ネットメディアの利用急増
- ・家庭のネット回線が増強
(巣ごもり・リモートワークが背景)



マーケティング

- ・展示会、セミナー開催の中止
- ・オンラインでの代替ニーズ拡大



オンラインシフトが加速

テクノロジー専門 オンライン専業 だからこそ、多くの貢献が可能に

B2B 広告+LG

バーチャルイベント

ねとらぼ

アナログ的手法が全面停止

⊕ テクノロジー市場活況

⊕ 特需化
[フィジカルイベント
代替ニーズ急拡大]

⊕ 新市場確立必至
[展示会市場は年間4千億]

⊕ PV増加
[巣ごもりが背景]

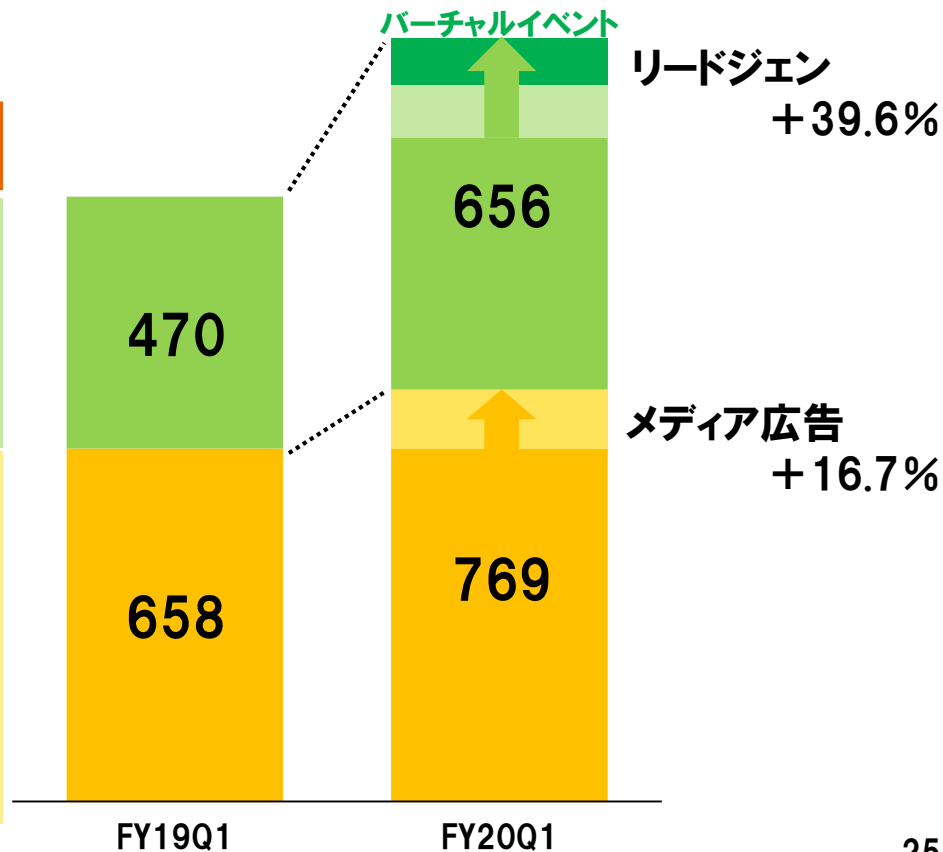
⊖ 広告単価下落
[コンシューマー系広告は
一時的に手控えムード]

→ 成長継続

新たな成長軸 バーチャルイベント

✓ 既存事業の成長加速に加え、バーチャルイベントが新たな成長軸に

顧客市場	メディア・マーケティング市場
テクノロジー市場 活況	マーケティングの オンラインシフト加速
	オンラインメディアの 利用拡大
消費者向け運用型 広告市場 やや鈍化	



バーチャルイベントとは

展示会やセミナーなどのイベントをオンラインでバーチャル化 B2B領域での強力な動画活用ビジネス

ITmedia
Virtual EXPO



システム・プラットフォームの提供に限らず、 メディア企業ならではの総合サービスを提供

メディア企業ならではの総合力

- 企画から集客、実行までフルレンジ
 - ・コンテンツ・企画 ・集客
 - ・運営・制作 ・プラットフォーム
- リードジェンプラットフォームとの連携
- 強力なB2B領域の営業力

プラットフォーム面での優位性

- 2009年から当分野で事業を展開する
国内バーチャルイベントのパイオニア

○ 米国ON24



バーチャルイベントプラットフォームの
グローバルでのパイオニア
米国ON24社と提携

B2Bの展示会やカンファレンス等
複雑・重厚なイベントへの対応に強み
緻密な来場者管理・トラッキングが可能

BEFORE

市場確立前

展示会市場

年間**4千億**

(=ポテンシャル)

2009年から開発

コロナ前に**黒字化**

WITH

特需化

フィジカルイベント
代替ニーズ急騰

問い合わせは**5倍**に
キャンセル待ち発生

AFTER

市場確立を確実に

ニューノーマル化

“オンラインでもオフライン
でも同じように参加できる
イベント”

リソースを整え、
第三の成長軸に育成

2021年3月期 業績予想・配当予想

上期

- 新型コロナ影響は追い風に
- 業績は過去最高水準

上期予想を開示

+

下期

- 以下は現時点では不明瞭
 - 新型コロナ収束時期
 - 経済情勢の先行き
 - 短期的需要変動

保守的に前期同水準

※ 修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

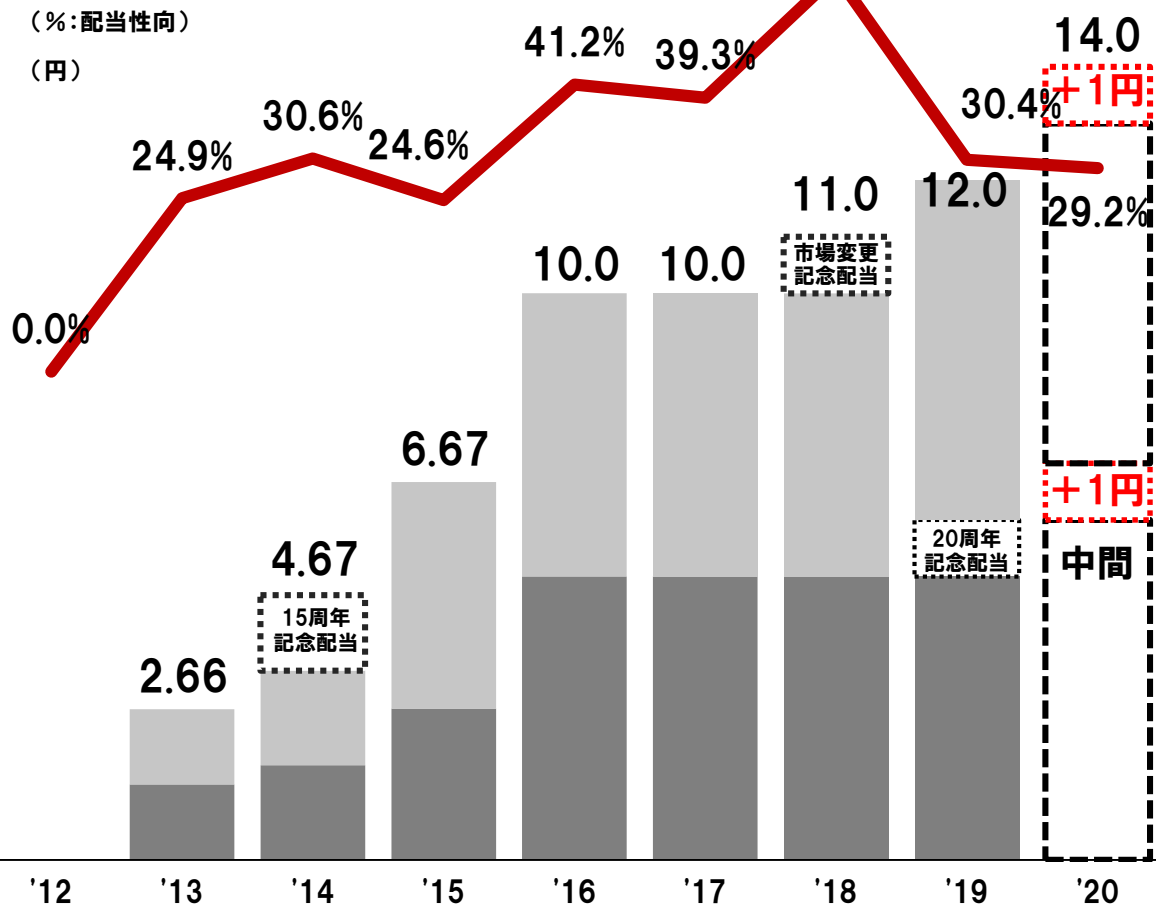
短期見通しは不明瞭ながら、長期的オンラインシフトの加速は確実

上期、通期での業績予想を開示

(百万円)		売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益
上期	今回発表予想	3,050	800	510
	前期比	(+25.0%)	(+63.3%)	(+60.3%)
	2019年度実績	2,440	490	318
(下期)	今回発表予想	2,838	682	440
	前期比	(-)	(-)	(-4.9%)
	2019年度実績	2,838	682	462
通期	今回発表予想	5,888	1,482	950
	前期比	(+11.5%)	(+26.4%)	(+21.7%)
	2019年度実績	5,278	1,172	780

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

配当金の推移と予想



配当予想修正 2円増配

期末配当7円

中間配当7円

※ 当社は2015年12月1日付で株式の3分割を実施しており、上記では過去の数値も含め分割後の基準に統一しています。

Online Centric

法人営業
のオンライン化

リードジェン



新システム「LBP」
の本格稼働で成長

メディア
のオンライン化

メディア広告



スマート&
ソーシャル

イベント
のオンライン化

デジタルイベント



動画を活用した
イベントの革新

メディアの革新を通じて
情報革命を実現し、社会に貢献する



ITmedia Inc.